

令和8年度
知床ねむろ観光連盟
〈組織媒体〉

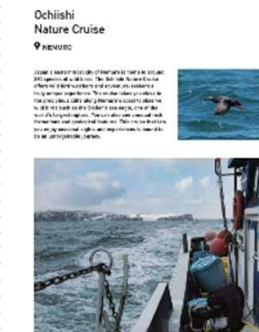
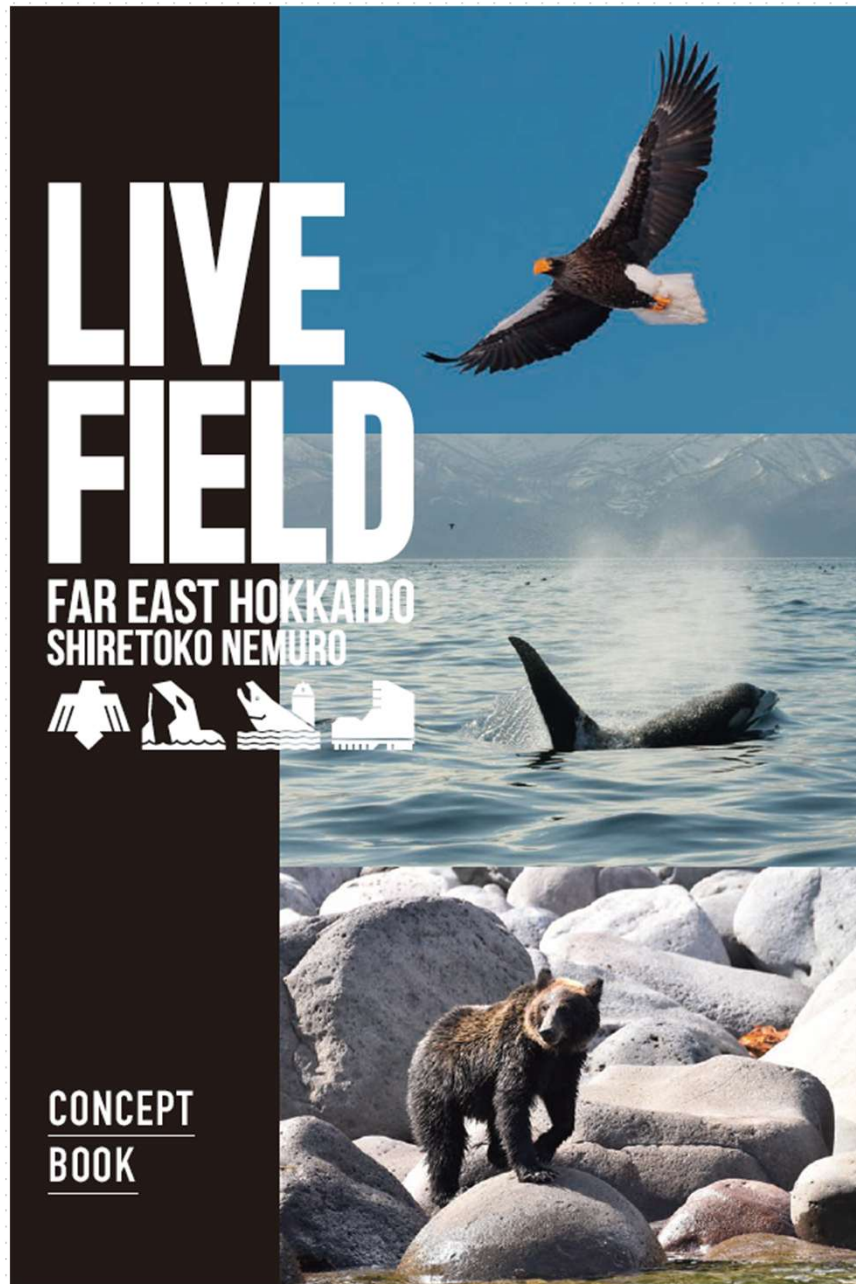
知床ねむろ観光連盟 事務局長 佐々木 亮介

令和8年7月17日（金）

北方領土隣接地域における地域一体となった啓発促進策の
検討に関する有識者会議



知床ねむろエリア 展開イメージ（ブランディング）



FOOD NURTURED BY THE REGION'S NATURE and INDUSTRIES



知床ねむろエリア 観光統計分析

入込客数	R5	R6	R7
根室	295,800	303,200	329,200
別海	372,700	347,100	394,100
中標津	241,500	248,400	263,300
標津	404,200	459,000	445,400
羅臼	516,300	546,200	570,200
計	1,830,500	1,903,900	2,002,200

宿泊延数	R5	R6	R7
根室	107,700	107,000	96,200
別海	24,600	25,600	31,200
中標津	65,500	68,200	76,800
標津	13,000	13,800	16,000
羅臼	59,800	48,100	39,900
計	270,600	262,700	260,100

インバウンド宿泊延数	R5	R6	R7
根室	4,462	6,485	6,603
別海	240	204	783
中標津	3,191	4,602	4,765
標津	687	685	836
羅臼	3,880	4,925	5,038
計	12,460	16,901	18,025

アジア宿泊延数	R5	R6	R7
根室	2,956	4,730	4,632
別海	32	126	359
中標津	2,181	3,111	3,146
標津	491	507	599
羅臼	2,556	2,982	3,127
計	8,216	11,456	11,863

欧米豪宿泊延数	R5	R6	R7
根室	1,506	1,755	1,971
別海	208	78	424
中標津	1,010	1,491	1,619
標津	196	178	237
羅臼	1,324	1,943	1,911
計	4,244	5,445	6,162

インバウンド国別	R5	R6	R7
根室	台湾-香港-中国	台湾-中国-香港	台湾-米国-韓国
別海	米国-香港-英国	台湾-韓国-米国	台湾-中国-仏国
中標津	中国-台湾-米国	中国-台湾-米国	中国-台湾-米国
標津	中国-台湾-香港	台湾-中国-香港	台湾-香港-仏国
羅臼	台湾-香港-中国	台湾-中国-米国	中国-台湾-米国
計	台湾-中国-香港	台湾-中国-香港	台湾-中国-米国

参考資料

道東エリア観光統計

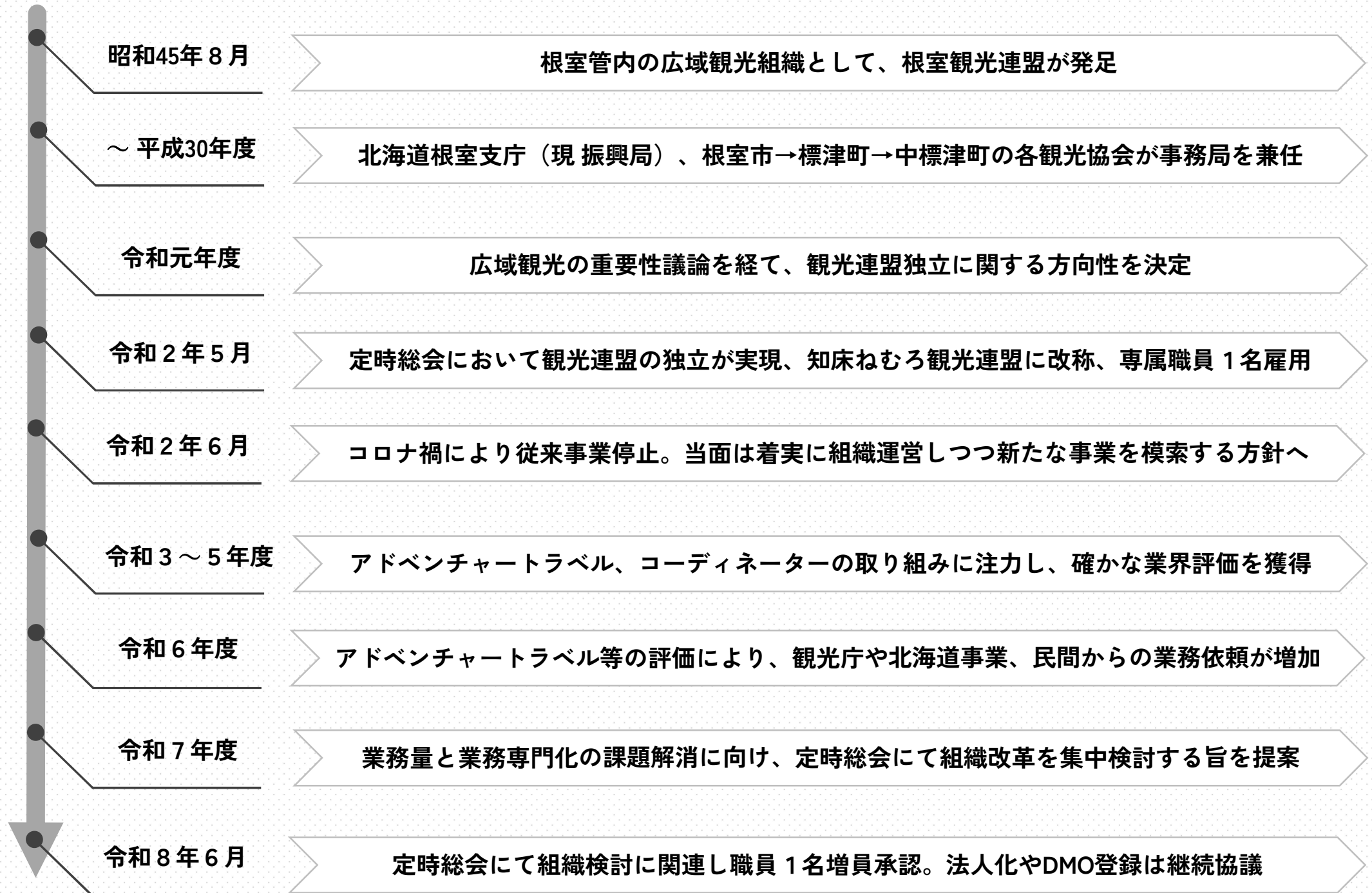
入込客数	R5	R6
オホーツク	8,593,200	9,035,600
釧路	6,895,400	7,190,600
根室	1,830,500	1,903,900
十勝	11,446,100	11,594,500
計	28,765,200	29,724,600

宿泊延数	R5	R6
オホーツク	1,624,600	1,690,600
釧路	1,475,700	1,536,300
根室	270,600	262,700
十勝	1,914,200	2,044,100
計	5,285,100	5,533,700

インバウンド宿泊延数	R5	R6
オホーツク	103,828	153,378
釧路	139,891	169,980
根室	12,460	16,901
十勝	145,443	185,138
計	401,622	525,397

- ・令和7年度の入込総数は、平成20年度以来となる200万人超えとなり、新型コロナウイルス蔓延前の令和元年度を超えた
- ・一部イベントで荒天の影響はあったものの、観光施設や地域のお祭り/イベント等への来場者が増えたことや、外国人旅行客が増加したことなどが要因と推測される
- ・宿泊客数及び宿泊客延数は令和6年度から微減となり、宿泊客の割合が9.7%（前年度10.3%）に減少した
- ・根室管内で宿泊施設の予約が取りにくい場合がある一方で、マイカーやレンタカーを利用する旅行では釧路管内やオホーツク管内までが宿泊可能圏内であるため、それらの地域を宿泊拠点として日帰り観光をしたり、根室管内を通過して別の地域で宿泊するといった旅行形態が増えている可能性がある
- ・台湾と中国が上位2か国となっているのは変わらないが、両国の占める割合は令和元年度38.3%⇒令和6年度46.4%⇒令和7年度47.3%と増加傾向にある
- ・欧米豪の占める割合が23.1%(4,162人)となり、前年度の19.2%(3,250人)から増加した。要因としては欧米圏でのアドベンチャートラベル誘客の成果や、旅行先の地方分散が考えられる

知床ねむろ観光連盟 組織沿革



知床ねむろ観光連盟 組織概要

役職	件数	名称
会長	1名	一般社団法人なかしべつ観光協会 会長 松實 秀樹
副会長	4名	根室市観光協会 会長 岡野 将光 別海町観光協会 会長 松隈 慎一 一般社団法人南知床標津町観光協会 代表理事 井南 進 一般社団法人知床羅臼町観光協会 会長 大野 貴史
理事	4名	根室市 市長 石垣 雅敏 標津町 町長 山口 将悟 羅臼町 町長 湊屋 稔 根室中標津空港ビル株式会社 専務取締役 吉岡 大
監事	2名	別海町 町長 曾根 興三 中標津町 町長 西村 穰
顧問	1名	根室振興局 局長 清水 章弘
幹事	12名	根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町、北海道根室振興局 観光課長 根室市観光協会、別海町観光協会、なかしべつ観光協会、南知床標津町観光協会、知床羅臼町観光協会 事務局長 根室中標津空港ビル 総務部長
会員	18件 (全29件)	大地みらい信用金庫、根室管内建設業協会、根室交通、旭観光バス、トヨタレンタリース釧路 根室商工会議所、別海町商工会、中標津町商工会、標津町商工会、羅臼町商工会 根室旅館組合、別海町旅館組合、中標津町旅館組合、標津町旅館組合 根室湾中部漁業協同組合、野付漁業協同組合、標津漁業協同組合、中標津町農業協同組合
事務局	1名	事務局長

知床ねむろ観光連盟 組織計画

項目	内容
基本方針	「ツーリズム」の果たすべき役割が観光を起点とした地域課題解決であることを再認識し、持続可能性や健全な地域経済循環への貢献に繋がる事業を推進する。さらに根室管内各地区行政及び観光協会の総合計画や事業目標に沿って有機的に広域観光事業を推進することで、行政支援による知床ねむろ観光連盟への投資支援効果を最大化させる。その結果として、知床ねむろ全体の地域発展に寄与する。
事業部門	（１）運営部門 - 人事労務、法務、経理、事務所開設等に係る総務的業務 組織としての健全なガバナンスを確保し、以下に記載する公益部門・共創部門・収益部門の各事業を適正に実行するため、組織運営に係る業務を行う。 （２）公益部門 - 義務外負担金執行によるインフラ、マーケティング、プロモーションなど従来の観光業務 義務外負担金による広域観光の推進を踏まえ「ワンストップ窓口・発信機能」としての役割を果たす。根室中標津空港観光案内所、知床ねむろの観光コンテンツやイベントなど広域情報の発信、認知拡大に資するプロモーション施策、誘客・来訪に繋げるためのプロモーションやツアーオペレーターへのセールスを実施する。 （３）共創部門 - 観光庁や北海道の補助金等事業、これからの観光の在り方を創る観光地域づくり業務 観光立国推進基本計画や観光庁指針に準拠し、広域の特性を活かして取り組み、その成果を各地域へ還元する。補助を活用したアドベンチャーツーリズムなど高付加価値旅行推進、エリアコーディネート、観光地経営戦略立案などの先進的な観光業務を牽引する。 （４）収益部門 - 安定財源確保率向上のため、持続的な組織運営と旅行販売の実現を目指すビジネス検討 安定財源確保のため収益事業を研究する。ツアーオペレートや旅行会社の依頼による事業ディレクションなどこれまで実績を積み重ねてきた業務を明確にビジネス化。安定した収益確保には一定程度のエリアスケールが必要なため、知床ねむろエリアを中心にしながら道東広域で連携して事業推進し、事業受託機会の増加とノウハウ収集・波及に繋げる。
単年度重点施策	令和８年度は、これまでの事業実績と顕在化している組織課題解決に向けた議論を踏まえ、観光連盟の組織体制及び執行方針検討を行う。観光地経営戦略の検討を進め、組織の運営計画を整備することで組織としてのガバナンス（事務分掌、決定プロセスの明確化）を確保するとともに、事業内容の精査や成果指標、資金面での計画性、事業責任の明確化、各地域との連携体制などの課題解決に優先的に取り組む。
中期的重点施策	・ 高付加価値旅行の推進（アドベンチャートラベル、ガストロノミーツーリズム、コーディネート強化） ・ オペレーション体系化とプラットフォーム機能（蓄積したノウハウの共有、セールスやプロモーションのプラットフォーム） ・ 収益事業強化を踏まえた道東広域観光推進（道東広域組織と連携、コーディネートによる安定運営に資する収益確保）

知床ねむろ観光連盟 個別事業

運営部門	公益部門	共創部門	収益部門
健全なガバナンスを確保し、公益部門・共創部門・収益部門の各事業を適正に実行するため、組織運営に係る業務を行う。	義務外負担金による広域観光の推進を踏まえ知床ねむろエリア広域の「ワンストップ窓口・発信機能」としての役割を果たす。	観光立国推進基本計画や観光庁指針に準拠し、広域の特性を活かして観光地域づくりに取り組み、その成果を各地域へ還元する。	安定財源確保のため民間からの依頼による事業ディレクションなど、これまで実績を積み重ねてきた業務を明確にビジネス化。
〈人事労務〉 ・ 職員の労務管理、法定福利厚生、リクルート業務 ・ 就業規則、給与規定等の法務整備 ・ 準公的組織としてのガバナンス整備 ・ 事務手順整理による観光業務標準化 ・ 研修会への参加、技能習得、オンラインセミナーや講演会参加	〈観光インフラ整備〉 ・ 根室中標津空港ビル委託によるビジターへの観光案内機能、情報揭示 ・ 観光情報（ポスター、チラシなど）の揭示とパンフレット配架 ・ 広域観光情報を掲載したウェブサイト運用 ・ 二次交通情報の整理と提供	〈観光地域づくり推進〉 ・ 観光庁、北海道など関係省庁からの補助支援獲得 ・ 観光地経営戦略（マネジメント/マーケティング）の検討、立案 ・ 観光懇談会実施など、観光地域づくりに資する機会と場の検討実施 ・ 観光庁指針準拠によるKGI、KSF、KPIなど主要成果指標設計 ・ 観光地域づくり法人（DMO）研究	〈事業ディレクション〉 ・ 補助金活用などに際した観光コンサルタント的業務 ・ 民間事業者（主に旅行会社想定）委託による事業ディレクション、マネジメント業務
〈経理ファイナンス〉 ・ 賃金支給、経理事務、予算管理、税務、決算業務 ・ 組織安定運営のための通常運営資金確保（義務外負担金、一般会費） ・ 共創部門、収益部門と連動した官公庁補助事業獲得と収益事業推進	〈観光マーケティング〉 ・ ウェブサイトやSNS発信用コンテンツ制作（モデルルート・マガジン等） ・ 関連事業者と連携したアクティビティやツアーの考案 ・ 観光に関する各種データ収集と分析、事業展開活用	〈高付加価値旅行推進〉 ・ ワイルドライフを軸としたアドベンチャートラベル推進 ・ 食、産業を軸としたガストロノミーツーリズム推進 ・ ネイチャーポジティブ、サステイナブルツーリズム推進	〈ツアーオペレーター〉 ・ 旅行業登録を要さない観光コンテンツ手配業務（主に食、体験） ・ ツアー行程作成支援、カスタマイズ、プランB検討など総合的なトラベルデザイン ・ 国内旅行業務の事例研究と検討
〈広域観光体制整備〉 ・ 組織運営、事務所及び事務機器等管理、広報業務 ・ 知床ねむろ観光連盟の定時総会、役員会、幹事会等の開催 ・ 地域内関連団体との連携（根室管内自治体、観光協会、根室振興局、民間組織等） ・ 地域外関連団体との連携（北海道観光機構、道東4地区観光連盟など） ・ 関連組織（サケの聖地、シーニックバイウェイ他）の会議、総会等への出席、事業連携	〈観光セールスプロモーション〉 ・ 観光イベント出展による一般プロモーション ・ 知床ねむろの魅力を訴求するための企画発案 ・ ノベルティ、ギブアウェイの制作・観光イベント等出展に使用する掲示物の制作 ・ ツアーオペレーターに対する定期的な訪問セールス ・ 観光商談会参加による新規取引先開拓、取引企業との関係性維持構築	〈地域貢献業務〉 ・ 地域内行政、関係観光組織との連携による公的性質の高い受託業務 ・ 岩谷学園ひがし北海道IT専門学校 観光科目講師受託（ホテル観光概論/観光プランニング） ・ 観光関連講師受託、運営伴走支援 ・ 北方領土署名、啓発イベントへの協力、教育旅行と連動した北方領土啓発	〈アクティビティ販売支援〉 ・ 地域内の観光コンテンツ開拓、事業者との連携による商品造成支援 ・ OTA（オンライントラベルエージェンツ）登録による販路拡大、業務支援 ・ 観光商品販売流通に必要なテンプレート整備 ・ 販路流通プロセス整理と仕組化

知床ねむろ観光連盟 特徴的な過去事業実績



オペレーター、地域事業者（住民）と連携した体験商品造成

- ・ 受入キャパシティに限りのある知床ねむろで価値を最大化するため、オペレーターからのオーダーに沿って体験を新規考案
- ・ 地域事業者や漁師/農家などの住民層まで巻き込んで商品造成



積極的なインバウンドセールス、ツアー誘客

- ・ 令和7年度 ITB ASIA シンガポール（約30社商談）
- ・ 令和7年度 ITB BERLIN ドイツ（約30社商談）
- ・ 令和7年度 VJTM 名古屋（約20社商談）
- ・ 令和6年度 ATWS PANAMA（約20社商談）
- ・ 令和5年度 ATWS HOKKAIDO（約20社商談）

※年間50件程度のインバウンド向けATツアーが催行



国内外ツアーオペレーター モニター/ファムによる誘客促進

- ・ 国内旅行会社、海外旅行会社、メディア等の下見やモニターツアーのコーディネート、アテンドを担当
- ・ ニーズの把握や不足コンテンツのヒアリング、改善など



地元教育機関での観光教育、ツアー実習企画

- ・ ホテル観光概論、観光プランニングなどの授業や北海道各地でセミナー/ワークショップ講師
- ・ マーケティング調査と実証を兼ねたツアー実習

ツアーコーディネートとコンセプト設計 (例：知床羅臼)



Shiretoko Wildlife & Culture Responsible Tour
“流氷”の恵みが海と山を繋ぐ、最果ての自然体験

豊かな資源を持つ根室海峡沿岸部“知床羅臼”は、縄文時代からオホーツクそしてアイヌ民族から現代の生活に至る野鳥・植物・文化を色濃く伝える。流氷の存在が知床の海と山、そして生態系にどのような影響を与えているのか、この美しい自然環境で文化・産業はどのように発展し野生動物と共存してきたのか、最果ての地 知床羅臼の暮らしが現代に生きる人々の心に語りかける。

北海道 / 知床 / 羅臼 | 2025年2月3日(月)～5日(水)

★ スノートレッキング / ワイルドライフ / カルチャー / ガストロノミー

Tour Concept	Tour Day 1	Tour Day 2	Tour Day 3
圧倒的な大自然との距離感、知床の営みと歴史から紐解く3日間 世界自然遺産知床は「流氷がつく豊かな生態系、火山が生んだ山々と海岸」が織りなす雄大な景観。を有した世界的にも評価の高いワイルドライフの聖地でツアーでは、単純に「美しい絶景」「野生動物を撮影したい」という観光型ではなく、地域特有の営みを育んだ歴史的背景への理解を深め、縄文時代アイヌ民族に引き継がれ現代の暮らしにも深く息づいているアニムズムの考え、地域資源を守っていくローカルの活動を地域住民とのコミュニケーションから感じます。自然・野生動物との距離が近いからこそ適切に共存共栄して羅臼での体験を通じ、未来に残すべき自然との距離感を考え直す時間になる。 Tour Highlights - アクティビティ強度の高いスノーストリートレッキング、知床の大自然への畏敬の念 - 漁師の奥様たちとのローカルコミュニティ交流、郷土づくりを通じた地域産業の理解 - 地域の営み、産業、野生動物との共生が成立しているのを知った上で見る、流氷とオオワシの迫力ある風景	10:00 ツアーオープニング「一万年の歴史が紡ぐ根室海峡」 縄文時代の土器や石器、アイヌ文化の展示品があり、太古からの知床周辺の暮らしを理解することができます。ローカルに深く入り込むには、知床の歴史を知り地域の産業を知ることから始めましょう。3日間の解像度を高め、何もない風景や営みに対して知的好奇心が働きかけられるはずです。 アクティビティ：ミュージアム (30分) 難易度：低い ★☆☆☆☆	10:00 知床羅臼スノートレッキング「アイヌも通った道 ルサノコシ」 《Team A》人に通ることのない静寂の冬山は、夏の知床を知るひとにも、さらなる発見や感動をあててくれることでしょう。目指す「ルサノコシ」は陸地から両側の海が見える標高300mの知床半島最北端。野生動物の息吹を感じながら、かつてアイヌの人々が行き来していたルートを歩きます。 アクティビティ：スノートレッキング (300分) 食事：ランチ (アウトドア) 難易度：高め (★★★☆☆)	10:00 浜の母ちゃんたちと作る郷土料理「羅臼昆布が生み出す和食の世界」 世界的に高い評価を受けているジャパニーズDASHI文化である羅臼昆布は、日本伝統食文化を支える知床世界自然遺産の基幹産業。シンプルながら在りよりさらに一歩深く漁村地域と繋がることです。この地に暮らす浜の母ちゃんたちと郷土料理の昆布巻を一試に作り味わいます。 食事：ランチ (郷土料理) アクティビティ：郷土料理づくり体験 (120分) 難易度：低い ★☆☆☆☆
	12:00 羅臼街歩きツアー「羅臼の営みとカルチャーに触れる」 現代に住む人々の暮らし、産業の姿、住民の心の寄りどころにする神社と羅臼ローカルを感じます。知床羅臼の歴史は漁業の歴史、街の中心部を歩くことによって、この地で暮らしてきた人たちの移り変わりに触れることができ、最果ての地での現代の生活を垣間見ることに繋がります。 アクティビティ：街歩き (最大120分) 食事：ランチ (町内食堂) 難易度：低い (★☆☆☆☆)	10:00 知床羅臼漁師「羅臼昆布クラフト / 極上鮭茶漬ランチ」 《Team B》アイヌ食文化の手紙が山奥とつながる。秋鮭山揚げの茶漬をいただきます。目の前で丁寧に焼かれ、羅臼昆布の一番出汁をかけた茶漬は絶品です。食後は羅臼昆布レクチャーを受け、昆布のヒレ割 (整形作業) を体験。羅臼の恵み「花鮭」にして、特別なお土産をお持ち帰りください。 食事：ランチ (郷土料理) アクティビティ：産業文化体験 (120分) 難易度：低い ★☆☆☆☆	10:00 流氷とバードウォッチング「根室海峡の豊かな海に集うオオワシ」 流氷を掻き分けながら、知床に越冬してきた動物や鳥などを探すクルージング。流氷時期にやってくる約700羽のオオワシ、オオワシの姿を見ることができ、冬のスケソウダラの漁船を間近で見学し、圧倒的な大自然とカルチャーが一体となって共存しているのを目の当たりにします。 アクティビティ：ワイルドライフ (60分) 難易度：低い ★☆☆☆☆
	10:00 知床羅臼ディナー「熟練寿司職人が贈る“知床握り” 地元漁師も愛用“いさみ寿司”は、新鮮な地元の海産物を使用した寿司が魅力の名店です。特に羅臼産の鮭魚やウニ、ホタテなどは絶品で、鮮度と旨味が豊か。職人の技が光る一貫一貫の寿司は、まるで根室海峡の恵みをそのまま味わうかのような、大層な熟練した技術にも注目です。 食事：ディナー (町内寿司店)	10:00 知床羅臼スノートレッキング「世界自然遺産の秘境 熊越の洞」 《Team B》昔、旅路に迷った母親がなんとか子熊だけでも送るために、海の上へ押し上げたことから名付けられた「熊越の洞」。白銀の世界に氷結した美しい洞が見られるのは冬限定です。スノシューを履いて、野生動物の足跡を辿りながら、知床国立公園内ふかふかの雪の上を散策します。 アクティビティ：スノートレッキング (120分) 難易度：やや高い (★★★☆☆)	

従来型旅行

コンセプトを付加

高付加価値旅行

- ・ 大自然の絶景、ここでしか見れない景色！
- ・ 大迫力の野生動物観察、写真撮影メイン
- ・ 豪華な食事、SNSに映える食事
- ・ コスパ重視の料金設定
- ・ 効率的にスポットを巡る (ホッピング)
- ・ 地域の成り立ちを理解する機会は表層的

- ・ 知床はなぜ海と山の自然が豊かで、世界遺産なのか？
- ・ 流氷が運ぶプランクトンによって海が豊かになる
- ・ 鮭が川を遡上して、山と森も含めて豊かな生態系構築
- ・ 羅臼の流氷は半島迂回によりばらけ、冬でも出漁が可能
- ・ 豊かな海でスケソウダラが網からこぼれるほど獲れた
- ・ そのおこぼれを狙ってオオワシがロシアから飛来し越冬
- ・ その地域に暮らす人々との交流、産業を理解する展開